

春日市
地域活動
指導員だより

No.110

2017.9月号



発行：春日市教育委員会
社会教育課

TEL 092-575-4121
FAX 092-593-7380

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください(イベント予告可)地域活動指導員が取材に伺います。

アンビシャス広場 折り紙ヒコーキ大会in春日



第1回『アンビシャス広場折り紙ヒコーキ大会 in 春日』が6月25日(日)、白水小学校の体育館で開催されました。このイベントは3月に行われる福岡県大会の予選会を兼ねており、「上白水」「すぐっ子」「春日南小学校区」の3つのアンビシャス広場が中心となり、市内の小学生と幼児、大人合わせて62名が参加しました。

まずは、折り紙ヒコーキ協会の井上英史氏より、折り紙ヒコーキの折り方の指導を受け、難しい部分は、サポーターとして参加した春日西中学校ボランティア隊の生徒や地域の高校生ボランティアに教わりながらそれぞれの折り紙ヒコーキを作り上げ、記録に挑みました。県大会参加資格記録は飛行距離10m以上、飛行時間4秒以上。よく飛ぶ工夫や練習を重ね12名の子どもたちが、見事参加資格記録を上回り、県大会への切符を手に入れました。

1月に第2回目の予選会が開催される予定です。たくさんのご参加お待ちしております。



井上先生から指導を受ける子どもたち



難しいところは学生ボランティアの中・高校生がお手伝い



いよいよ Take off!!さて、記録は・・・?



県大会への参加資格を手にした精鋭たち

～ アンビシャス広場対抗「第2回 アンビシャス広場対抗 折り紙ヒコーキ福岡県大会」 ～
日時 平成30年3月21日(木) 春分の日 太宰府市総合体育館 とびうめアリーナ
主催 福岡県アンビシャス広場連絡協議会 共催 福岡県青少年アンビシャス運動推進本部

アンビシャス広場活動の紹介

アンビシャス広場とは、放課後や休日に学校や公民館で子どもたちが自由に遊んだり、勉強をしたり、いろいろな体験ができる「子どもの居場所」です。

市内 36 会場ある広場の中から、今回は 4 つの活動をご紹介します。

春日東小学校「東っ子」アンビシャス広場

場 所：千歳町公民館

東っ子アンビシャス広場では、毎年、千歳地区夏祭りに向けて和太鼓の練習を行っています。初めは、うまくできなかった子どもたちも練習を重ねるうちにみるみる腕を上げ、本番前日の練習では、迫力ある演奏を披露してくれました。子どもたちが日本の伝統文化にふれる良い機会になっているようです。



春日南小学校区アンビシャス広場

場 所：ちくし台公民館

小学 3 年生～6 年生を対象に行われている寺子屋では、福岡女学院大学の学生が学習指導を行っています。この日は、英語の学習ということで、歌を歌いながら発音の練習をしたり、カードで英単語の学習をしたりと、子どもたちが楽しみながら学べるよう工夫された学習が進められていました。春日東中学校の生徒もボランティアとして参加し、小学生と中学生の交流の場にもなっています。



春日西アンビシャス広場

場 所：春日西小学校 体育館

春日西アンビシャス広場のドッジボールは、週に 3 回春日西小学校の体育館で行われています。

低学年から高学年の幅広い年齢の子どもたちが参加し日々練習に励んでいます。この広場では、子どもたちに競技ドッジボールの技術だけでなく、あいさつや礼儀などの大切さも伝えているようです。



春日原アンビシャス広場

場 所：春日原小学校 ゆめホール

月に 1 回ゆめホールで行われている卓球教室には、毎回約 40～50 名の子どもたちが参加しています。

初心者の子供もたくさんいますが、卓球経験のある地域の方が、ラケットの振り方から丁寧に教えてくれます。子どもたちは元気な掛け声で、卓球を楽しんでいます。



トピックス

まつおひやくしょうむら

松尾百笑村 宿泊体験学習 天神山地区自治会

天神山自治会は、6年前から八女市立花町にある「松尾百笑村」と交流を深めています。今年は、小学5、6年生の天神山地区子ども部役員10名が2泊3日の宿泊体験学習を行い、村の方々と交流しながら野菜の収穫作業や牛舎での牛の世話等さまざまな体験ができました。

最後に感謝の気持ちを込めて子どもたちが作ったカレーを、体験活動でお世話になった村の方々に食べていただき、笑顔あふれる「松尾百笑村」の方々とのお揃いの夏の思い出となりました。



「松尾百笑村」は、平成2年に大雨による甚大な被害を受けながらも再び村を元気にするために住民が一丸となり笑顔で村おこしを行っています。

春日市六中・生徒会サミット 実践発表会&出前トーク「市長と語る」

春日市青少年育成市民会議主催

8月23日(水) ふれあい文化センターのスプリングホールにて「春日市六中・生徒会サミット」実践発表会&出前トーク「市長と語る」が開催されました。午前の部は、昨年12月に市内の新生徒会役員が一堂に会し開催された「春日市六中・生徒会サミット」研修会で学び感じたことを活かしてより良い学校にするために実施した取組と成果について発表を行いました。

午後の部の出前トーク「市長と語る」では、市長や市幹部に春日市の将来についての質問や「スポーツセンターの利用料を安くしてほしい」などの具体的な要望が出されました。学校生活や自分たちが暮らす地域についてしっかりと考えることができる人材が生徒会活動をととした取組の中で育っていることを感じました。



社会教育課主催企画

春日市ふれあい文化センター 夏休みイベント

春日市ふれあい文化センターでは、夏休みにさまざまな子ども向けのイベントが行われました。子どもたちは、日ごろできない貴重な体験ができたようです。今回は、その一部をご紹介します。

「朝活」

7月25日～8月18日の平日に行われた「朝活」には、市内の小中学生が参加し、開館前の図書館でラジオ体操や本の整理等を行いました。参加者は、不規則になりがちな夏休みを朝から気持ちよく過ごすことができました。

「図書館探検隊」

「図書館探検隊」は、図書館でのお仕事体験や普段見ることができない図書館の裏側探検ができる人気のイベントです。子どもたちは、緊張しながらも窓口での本の貸し出し等の仕事を頑張っていました。



春日市弥生の里児童画大賞展 子ども絵画ワークショップ

市内の小学生37人が参加し、彫刻家の吉村 形先生指導のもと、「見たことないものつくってみよう！」をテーマにダンボールやスナック菓子の袋、毛糸など身近な材料を使って、作品を制作しました。自分の中のイメージを自由に表現した個性あふれる作品が出来上がりました。



春日市に広がる「子ども食堂」



子どもの居場所づくりと食の大切さを子どもたちに伝えたいという思いから始まった「元気ワクワク料理クラブ」を皮切りに、市内で広がりを見せている「子ども食堂」は、現在 5 つの会場で行われています。

市内で行われている「子ども食堂」は食事を提供するだけではなく、友達や地域の方と遊んだり、勉強をしたり、料理のお手伝いをしたりとさまざまな活動が盛り込まれています。

子どものために何かを始めたいという思いを持った方が自然と集まり始まった春日市の「子ども食堂」は、子どもたちが地域の方と交流しながら自由に過ごすことができる「子どもと大人の居場所」となっています。



ダイニング「つ・ど・い」
(小倉東公民館)



コミュニティ 食堂昇町
(昇町公民館)



奴国の里ふれあい子ども食堂
(須玖南公民館)



奴国の里ふれあい子ども食堂
(弥生公民館)

きれい春日の人

元気ワクワク料理クラブ

しらやま よしあき
代表 白山 義章 さん



元気ワクワク料理クラブ
(浄運寺：下白水南地区)

今年7月に1周年を迎えた「元気ワクワク料理クラブ」の代表 白山 義章さんにお話を伺いました。

この「元気ワクワク料理クラブ」は、食の提供だけではなく、調理の手伝いや宿題ができる子どもたちの居場所として、また、地域の方の居場所としても多くの人が集う場となっています。

「自分もノウハウがあったから始めたことではない。自分のやりたいことを口にするだけで、多方面から協力の声があがりたくさんの人の支えがあって、今継続できている。ありがたいこと。地域の方の協力を得ることで「食」のお話や絵本の読み聞かせなどの活動も子どもたちに提供できている。一度来た子どもが次に友だちを誘って参加したり、子どもたちの「おいしい」の声がかかるとやって良かったと思う。これからも背伸びせず無理しないで長く続く活動にしたい。」と話す白山さんですが、多くの方の賛同が得られるのもその人柄からではないかとお話を伺う中で感じました。

次は寺子屋のような場所を作りたいということで10月頃の開始を目途に準備中。「これまで春日西小学校のPTA活動などを通じて子どもたちを見てきたが、子どもはそれぞれ「やればできる力」を持っていると感じる場面が何度もあった。その「力」を伸ばすための大人の関わり方を考えていきたい。」と今後の活動についても語っていただきました。

アンビシャス広場や子ども会など、社会教育に関する情報は、春日市ホームページ内『子育て・教育』『社会教育』からご覧いただけます。